

第7回常任理事会報告

日 時 平成22年11月15日（月）午後2時～午後3時54分
場 所 日本歯科医師会 801会議室
出席者 <会 長> 江藤一洋
<副 会 長> 住友雅人、井出吉信
<総務理事> 黒崎紀正
<常任理事> 川添堯彬、佐藤田鶴子、山崎芳昭、福田仁一、
江里口 彰、寺下正道、上西秀則、伊藤公一、
後藤滋巳、栗原英見
<広報委員> 菊谷 武
□日本歯科総合研究機構
<研究部長> 石井拓男
欠席者 <常任理事> 荒木孝二、佐々木啓一

[議長 黒崎総務理事]

1. 開 会

住友副会長より、開会の辞が述べられた。

2. 挨拶

江藤会長より、挨拶がなされた。

3. 報 告

1) 一般会務報告

黒崎総務理事より、次の資料に基づき、報告がなされた。

□一般会務報告（平成22年10月15日～11月14日）

□第6回常任理事会報告（平成22年10月15日開催）

2) 第22回日本歯科医学会総会準備状況報告

川添会頭より、次の資料に基づき、報告がなされた。

□第22回日本歯科医学会総会分科会プログラム募集要項

3) 会計現況報告

山崎常任理事より、次の資料に基づき、報告がなされた。

□学会会計収支計算書

□第22回日本歯科医学会学術大会会計収支計算書

（ともに平成22年4月1日～平成22年10月31日）

4) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供

特になし

(2) 歯科医療技術革新の推進

特になし

(3) 専門医制度の在り方の検討

特になし

(4) 学会機構の改革

特になし

(5) 国際連携の推進

特になし

(6) 歯科医学未来構想の構築

特になし

5) 会長報告

江藤会長より、日歯役員会提出資料に基づき、①日歯シンポジウム「食べる、生きる、幸せ噛みしめる～8020健康長寿社会を目指して～」、②第12回社会保障審議会医療部会、③JA健康寿命100歳プロジェクト企画委員会、④「歯科医師需給に関する要望(案)」、⑤公益法人改革への対応、⑥日歯改正定款の骨子案、⑦日本プライマリ・ケア連合学会「医科歯科連携推進ワーキンググループ設置のお願い」、⑧第98回FDI年次世界歯科大会報告書、⑨厚労省「歯科医師の専門性に関する資格及び資格認定団体について」、⑩日本医療機能評価機構「医療事故情報収集等事業『医療安全情報 No. 47』の提供について」、⑪新規材料部会意見「歯冠用金銀パラジウム合金に代わり得る新素材の要件等について」、⑫スポーツと歯科における我が国の現状と課題について『答申書』、⑬平成20・21年度日歯生涯研修事業実施結果に関する考察ならびに報告について、⑭「民主党税制改正PTの租税特別措置・税負担軽減措置等にかかる重点要望について」、⑮第3回チーム医療推進会議、⑯「保険業法等の一部を改正する法律の一部を改正する法律案」の早期成立に向けてのご支援のお願い、⑰日歯・日本栄養士会第2回共済事業「食べることは生きること～健やかな食と食べる機能を支援するためのシンポジウム～」、⑱民主党税制改正PT「租税特別措置・税負担軽減措置等にかかる重点要望について」、⑲日歯総研「歯科診療所のサービス提供余力の活用方策」、について報告がなされた。

6) その他

▶ 中医協報告

住友副会長より、10月15・27日および11月10日に開催された中央社会保険医療協議会総会について、資料に基づき、報告がなされた。

▶ 「偶発症」「合併症」用語の整理について

後藤常任理事より、資料に基づき、報告がなされた。

▶ 評議員の交代について（日本口腔インプラント学会）

黒崎総務理事より、資料に基づき、報告がなされた。

▶ 学術研究委員会からの意見について

佐藤常任理事より、資料に基づき、報告がなされた。

▶ 鑑定人登録・派遣に関する横浜地裁試案の依頼について

江藤会長より、資料に基づき、報告がなされた。

- ▶ヒト幹細胞を用いる臨床研究に関する指針の改正等について
黒崎総務理事より、資料に基づき、報告がなされた。

全体の一括質疑応答として、

- 石井研究部長により、「合併症・偶発症」の用語の使い分けについて、ぜひ周知を図ってほしいと要望。後藤常任理事および住友副会長より現状説明がなされたのち、意見交換がなされ、取り扱いは執行部に一任することにした。また江里口常任理事より、具体的な事例を表記してほしい旨要望があり、歯科学術用語委員会へ例示を依頼することにした。
- 佐藤常任理事より、学術研究委員会からの利益相反に関する意見書の説明を踏まえ、意見交換がなされた。江藤会長より、画一的な基準を設けるのではなく、各委員会ごとに弾力的に対応すべきとの考えを示した。

4. 協 議

1) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供

特になし

(2) 歯科医療技術革新の推進

特になし

(3) 専門医制度の在り方の検討

栗原常任理事および江里口常任理事より、資料に基づき諮られ、継続審議となった。主な発言では、石井研究部長より、現在国が定める歯科の専門医制度はなく、現状では医療法に基づく広告の問題であるとした上で、各学会間の認定基準の格差解消や必要な専門医の具体的な数および質の担保が明示され、国民に広く周知されれば制度化は可能ではないか旨発言。また、伊藤常任理事より、患者のための専門医と学会のための専門医について質したところ、執行部より、国民利益を第一に考えた専門医制度である旨回答。

(4) 学会機構の改革
特になし

(5) 国際連携の推進
特になし

(6) 歯科医学未来構想の構築
特になし

2) 事業計画の推進

(1) 平成 23 年度事業計画について

黒崎総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、全会了承された。

(2) バイタルサインセミナーについて

黒崎総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、全会了承された。

(3) 後援名義貸与について

黒崎総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、貸与することを全会了承された。

(4) 役員派遣について

黒崎総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、役員を派遣することとし、全会了承された。

3) その他

全体の一括質疑応答として

○江里口常任理事より、糖尿病協会が作成した糖尿病連携手帳に新たに歯周病という項目が加わったが、主に診察する医科の先生が症状を判断しやすいような歯周病の指針や重症度を記載する欄がないので、歯科における客観的な指針を示してほしい旨要望。伊藤常任理事より、歯周病

の状態を記入する欄は後半にあるが、今後、医科歯科連携を推進し、糖尿病と歯周病について、より理解を深めていきたい旨回答。

5. 閉 会

井出副会長より、閉会の辞が述べられた。